



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月14日

上場会社名 出光興産株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5019 URL <https://www.idss.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木藤 俊一  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部IR室長 (氏名) 徳光 孝治 TEL 03-3213-9307  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,560,673	36.5	108,190	△24.5	91,399	△42.6	64,927	△36.2
2019年3月期第3四半期	3,340,100	25.4	143,244	△8.4	159,281	△6.2	101,777	△29.8

（注）包括利益 2020年3月期第3四半期 48,219百万円（△49.1%） 2019年3月期第3四半期 94,753百万円（△39.4%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	215.41	—
2019年3月期第3四半期	497.49	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,126,077	1,296,091	30.2
2019年3月期	2,890,307	878,931	29.1

（参考）自己資本 2020年3月期第3四半期 1,245,536百万円 2019年3月期 842,099百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2020年3月期	—	80.00	—	—	—
2020年3月期 （予想）	—	—	—	80.00	160.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100,000	37.8	165,000	△8.0	150,000	△11.3	100,000	22.8	332.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は2020年3月24日を期日とする上限480万株の自己株式取得を実施しました。この結果、2020年1月24日までに4,060,800株を取得し、同日までの取得をもって当該自己株式取得を終了しました。2020年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、当該取得自己株式数を期中平均株式数に反映し算出しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）昭和シェル石油株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	301,925,518株	2019年3月期	208,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,474,965株	2019年3月期	10,657,857株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	301,410,566株	2019年3月期3Q	204,582,936株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の国内の石油製品需要は、車両の燃費改善などの構造的要因により、前年を若干下回りました。

ドバイ原油価格は、5月中旬までは70ドル/バレル前後で推移しましたが、米中対立などを受けた世界経済の先行き不透明感の強まりなどを背景に5月下旬以降は下落傾向が続きました。その後、12月にOPECプラスの減産幅拡大などにより上昇傾向となり、4～12月の平均価格では前年同期比7.7ドル/バレル下落の63.5ドル/バレルとなりました。

石油化学原料であるナフサ価格は、前年同期比で118ドル/トン下落の534ドル/トンとなりました。

(原油価格、ナフサ価格、為替レートの状況)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	
			絶対値	比率
ドバイ原油 (ドル/バレル)	71.3	63.5	△7.7	△10.8%
ナフサ価格 (ドル/トン)	652	534	△118	△18.1%
為替レート (円/ドル)	111.1	108.7	△2.5	△2.2%

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、4月1日に実施した昭和シェル石油株式会社（以下「昭和シェル」という。）との株式交換による経営統合などにより、4兆5,607億円（前年同期比+36.5%）となりました。

営業利益は、燃料油セグメントにおける在庫評価、及び資源セグメントにおける生産量減少や資源価格の下落の影響などにより1,082億円（前年同期比△24.5%）となりました。

営業外損益は、持分法投資損失の計上などにより168億円（前年同期比△328億円）の損失となりました。その結果、経常利益は914億円（前年同期比△42.6%）となりました。

特別損益は、昭和シェル株式の段階取得に係る差益などにより、114億円（前年同期比+94億円）の利益となりました。

法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額を合わせた税金費用は、税金等調整前四半期純利益の減少により361億円（前年同期比△180億円）となりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は649億円（前年同期比△36.2%）となりました。

## [参考]

昭和シェルの前年同期を100%連結ベースにした概算値との比較においては、売上高は、前年同期比△12.2%、営業利益は、前年同期比△43.8%となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりです。

なお、「2 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載のとおり、昭和シェルと経営統合したことに伴い、第1四半期連結累計期間より、報告セグメントを従来の「石油製品」「石油化学製品」及び「資源」の3つのセグメントから、「燃料油」「基礎化学品」「高機能材」「電力・再生可能エネルギー」及び「資源」の5つのセグメントに再編しています。

## [燃料油セグメント]

燃料油セグメントの売上高は、3兆6,304億円（前年同期比+47.4%）となりました。セグメント利益（営業利益+持分法投資損益）は、在庫評価影響や持分法投資損失の計上などの減益要因により168億円（前年同期比△61.2%）となりました。

## [参考]

昭和シェルの前年同期を100%連結ベースにした概算値との比較においては、売上高は、前年同期比△10.7%、セグメント利益（営業利益+持分法投資損益）は、前年同期比△80.8%となりました。

## [基礎化学品セグメント]

基礎化学品セグメントの売上高は、通関ナフサ価格が下落したことなどにより3,500億円（前年同期比△3.9%）となりました。セグメント利益（営業利益+持分法投資損益）は、スチレンモノマー等製品マージンの縮小などにより180億円（前年同期比△27.3%）となりました。

## [高機能材セグメント]

高機能材セグメントの売上高は、2,940億円（前年同期比+11.2%）となり、セグメント利益（営業利益+持分法投資損益）は、持分法投資利益の減少などにより202億円（前年同期比△11.5%）となりました。

## [参考]

昭和シェルの前年同期を100%連結ベースにした概算値との比較においては、売上高は、前年同期比△9.6%、セグメント利益（営業利益+持分法投資損益）は、前年同期比△19.5%となりました。

## [電力・再生可能エネルギーセグメント]

電力・再生可能エネルギーセグメントの売上高は、946億円（前年同期比+469.5%）となり、セグメント利益（営業利益+持分法投資損益）は、△5億円（前年同期比△12億円）となりました。

## [参考]

昭和シェルの前年同期を100%連結ベースにした概算値との比較においては、売上高は、前年同期比△10.6%、セグメント利益（営業利益+持分法投資損益）は、前年同期比+80億円となりました。

## [資源セグメント]

## (石油開発事業・地熱事業)

石油開発事業・地熱事業は、生産量減少や原油価格の下落などにより、売上高は、359億円（前年同期比△38.8%）となり、セグメント利益（営業利益+持分法投資損益）は、122億円（前年同期比△59.2%）となりました。

## (石炭事業・その他事業)

石炭事業・その他事業の売上高は、1,531億円（前年同期比△10.3%）となりました。セグメント利益（営業利益+持分法投資損益）は、石炭価格の下落などにより223億円（前年同期比△39.7%）となりました。

以上の結果、資源セグメント合計の売上高は、1,890億円（前年同期比△17.6%）、セグメント利益（営業利益+持分法投資損益）は、345億円（前年同期比△48.4%）となりました。

## [その他セグメント]

その他セグメントの売上高は、28億円（前年同期比△13.3%）となりました。当期は昭和シェルに係る持分法投資利益が含まれていない影響などにより、セグメント利益（営業利益+持分法投資損益）は、5億円（前年同期比△89.6%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 要約連結貸借対照表

	(単位：億円)		
	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間	増減
流動資産	12,254	18,406	+6,151
固定資産	16,649	22,855	+6,206
資産合計	28,903	41,261	+12,358
流動負債	11,958	18,415	+6,457
固定負債	8,156	9,885	+1,729
負債合計	20,114	28,300	+8,186
純資産合計	8,789	12,961	+4,172
負債純資産合計	28,903	41,261	+12,358

## ①資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、4兆1,261億円（前期末比+1兆2,358億円）となりました。

## ②負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、2兆8,300億円（前期末比+8,186億円）となりました。

## ③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、4月1日付の株式交換に伴う資本剰余金の増加（前期末比+3,411億円）や自己株式の処分、市場買付による自己株式の取得などにより、1兆2,961億円（前期末比+4,172億円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月14日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	91,850	125,225
受取手形及び売掛金	453,316	708,216
たな卸資産	586,561	802,516
その他	94,801	206,406
貸倒引当金	△1,101	△1,810
流動資産合計	1,225,427	1,840,554
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	182,800	259,442
土地	576,288	812,583
その他(純額)	232,939	367,738
有形固定資産合計	992,028	1,439,764
無形固定資産		
のれん	7,214	171,148
その他	17,536	161,560
無形固定資産合計	24,750	332,709
投資その他の資産		
投資有価証券	400,847	267,819
その他	247,948	245,990
貸倒引当金	△696	△761
投資その他の資産合計	648,100	513,048
固定資産合計	1,664,879	2,285,522
資産合計	2,890,307	4,126,077
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	399,176	627,900
短期借入金	154,715	334,521
コマーシャル・ペーパー	204,000	288,999
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払金	305,563	415,237
未払法人税等	30,634	24,276
賞与引当金	8,169	4,356
その他	83,541	146,222
流動負債合計	1,195,800	1,841,513
固定負債		
社債	50,000	80,000
長期借入金	531,168	508,780
退職給付に係る負債	11,996	75,779
修繕引当金	38,267	70,221
資産除去債務	51,620	56,427
その他	132,522	197,264
固定負債合計	815,575	988,472
負債合計	2,011,376	2,829,985

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	168,351	168,351
資本剰余金	130,876	471,989
利益剰余金	466,750	497,500
自己株式	△56,022	△7,603
株主資本合計	709,955	1,130,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,734	6,180
繰延ヘッジ損益	△6,730	△8,457
土地再評価差額金	155,535	155,382
為替換算調整勘定	△21,330	△37,334
退職給付に係る調整累計額	△1,064	△472
その他の包括利益累計額合計	132,144	115,299
非支配株主持分	36,831	50,555
純資産合計	878,931	1,296,091
負債純資産合計	2,890,307	4,126,077



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	3,340,100	4,560,673
売上原価	2,975,282	4,145,683
売上総利益	364,817	414,990
販売費及び一般管理費	221,573	306,800
営業利益	143,244	108,190
営業外収益		
受取利息	4,670	7,797
受取配当金	3,158	3,141
為替差益	—	520
持分法による投資利益	15,091	—
その他	1,674	4,450
営業外収益合計	24,594	15,910
営業外費用		
支払利息	6,535	9,729
為替差損	275	—
持分法による投資損失	—	20,737
その他	1,746	2,234
営業外費用合計	8,557	32,701
経常利益	159,281	91,399
特別利益		
固定資産売却益	1,519	2,293
関係会社株式売却益	187	—
油田プレミアム契約解消益	6,175	—
段階取得に係る差益	—	17,215
その他	629	3,129
特別利益合計	8,511	22,638
特別損失		
減損損失	3,271	99
固定資産売却損	142	139
固定資産除却損	1,286	5,458
その他	1,849	5,566
特別損失合計	6,550	11,263
税金等調整前四半期純利益	161,242	102,773
法人税等	54,062	36,081
四半期純利益	107,180	66,692
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,402	1,765
親会社株主に帰属する四半期純利益	101,777	64,927

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	107,180	66,692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,890	180
繰延ヘッジ損益	△1,636	△60
為替換算調整勘定	△8,570	△16,264
退職給付に係る調整額	414	△203
持分法適用会社に対する持分相当額	256	△2,124
その他の包括利益合計	△12,426	△18,473
四半期包括利益	94,753	48,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,893	48,234
非支配株主に係る四半期包括利益	4,860	△15

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2019年4月1日付で当社を株式交換完全親会社とし、昭和シェル石油株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施しました。その結果、資本剰余金が341,115百万円増加し、自己株式は55,127百万円減少しています。

また当社は、2019年11月14日開催の取締役会決議において、取得株数4,800,000株、総額120億円を上限とする自己株式の取得を決議しています。この取締役会決議に基づき、当第3四半期連結会計期間末までに自己株式1,874,300株(取得価額5,561百万円)の取得を行いました。これらの取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が6,708百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が7,603百万円となっています。

(会計方針の変更)

(その他有価証券のうち時価のあるものの評価基準の変更)

その他有価証券のうち時価のある株式については、従来、決算日前1ヶ月の市場価格の平均に基づく時価法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より原則的な方法である決算日の市場価格に基づく時価法に変更しています。

この変更は、昭和シェル石油株式会社との経営統合を契機に、より適正な財政状態を開示するために実施したものです。

なお、当該会計方針の変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っていません。

(IFRS第16号「リース」の適用)

当社グループにおける主に米国を除く在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間の期首より、IFRS第16号「リース」を適用しています。これによりリースの借り手は原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識しています。

なお、当該会計基準の適用が当社グループの財政状態及び経営成績に与える影響は軽微です。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

単位: 百万円

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結財務諸 表計上額 (注) 3
	燃料油	基礎 化学品	高機能材	電力・再 生可能エ ネルギー	資源	計				
売上高										
外部顧客への売上高	2,462,441	364,360	264,283	16,612	229,223	3,336,922	3,178	3,340,100	—	3,340,100
セグメント間の内部売 上高又は振替高	14,039	17,600	14,342	514	690	47,187	1,329	48,517	△48,517	—
売上高計	2,476,481	381,960	278,625	17,127	229,914	3,384,109	4,507	3,388,617	△48,517	3,340,100
営業利益	41,403	21,874	16,766	548	65,551	146,142	403	146,546	△3,301	143,244
持分法投資利益	1,868	2,852	6,111	151	1,282	12,266	3,953	16,219	△1,128	15,091
セグメント利益	43,271	24,726	22,877	700	66,833	158,409	4,356	162,765	△4,429	158,335

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に昭和シェル石油(株)、保険事業、グループ内サービス事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費等です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と持分法による投資利益もしくは損失とそれぞれ調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要なものはありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

単位: 百万円

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結財務諸 表計上額 (注) 3
	燃料油	基礎 化学品	高機能材	電力・再 生可能エ ネルギー	資源	計				
売上高										
外部顧客への売上高	3,630,380	349,974	293,963	94,608	188,992	4,557,919	2,754	4,560,673	—	4,560,673
セグメント間の内部売 上高又は振替高	20,064	17,040	16,744	1,008	725	55,584	677	56,262	△56,262	—
売上高計	3,650,444	367,015	310,708	95,617	189,718	4,613,503	3,432	4,616,936	△56,262	4,560,673
営業利益又は営業損失 (△)	42,779	16,867	18,991	△832	33,798	111,605	454	112,059	△3,869	108,190
持分法投資利益又は 損失(△)	△25,981	1,099	1,249	332	679	△22,620	—	△22,620	1,883	△20,737
セグメント利益又は 損失(△)	16,798	17,966	20,241	△500	34,478	88,984	454	89,438	△1,985	87,453

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に保険事業、グループ内サービス事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費等です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と持分法による投資利益もしくは損失とそれぞれ調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2019年4月1日付で昭和シェル石油株式会社(以下「昭和シェル」)の全株式を取得したことに伴い、同日付で「燃料油」セグメントにおいて128,551百万円、「電力・再生可能エネルギー」セグメントにおいて42,850百万円のれんが増加しています。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

昭和シェルと経営統合したことに伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを従来の「石油製品」「石油化学製品」及び「資源」の3つのセグメントから、「燃料油」「基礎化学品」「高機能材」「電力・再生可能エネルギー」及び「資源」の5つのセグメントに再編しています。

各区分に属する主要な事業は下記の表のとおりです。

報告セグメント	主要な事業
燃料油	石油精製製品の生産・販売・輸出入及びトレーディング事業等
基礎化学品	オレフィン・アロマ製品の生産・販売等
高機能材	潤滑油、機能化学品、電子材料、高機能アスファルト、アグリバイオ等
電力・再生可能エネルギー	発電(火力、太陽光、風力等)・電力販売及び太陽電池事業
資源	原油及び石炭等のエネルギー資源の探鉱・開発・生産・販売

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

## 4. セグメント資産の重要な変動

昭和シェルとの経営統合を主な要因として、当社グループ総資産は1,235,769百万円増加し、4,126,077百万円となりました。主に「燃料油」セグメントで増加しています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。